

近現代史入門の すゝめ

Great East Asia War

Who made a world history in the modernized
world and a world map?

日本を表す敷島とは、四季島から出たもので、春夏秋冬の国たとえである。豊かな自然に恵まれた日本列島ではあるが、天災の国でもある。

数百年ごとに迫り来る大地震。収穫を無慈悲に奪う台風の襲来。常に襲いかかる災害に諦観することなく、希望を持って立ち向かってきた日本民族は、自ずと勤勉で強靭で理知深い国民性を築いてきた歴史がある。

しかし大東亜戦争敗戦により、日本は米英白人帝国に統治された。そのG HQ(連合国軍最高司令官総司令部)最大の使命は、「日本が再びアメリカの脅威にならない国にする」であった。

白人に都合の良い歴史に改ざんし、堕落した文化と精神を与え、軟弱で徳を忘れた、腐りきった民族に変貌させる事を意図した。

チェコの作家ミラン・クンデラは、

「まず民衆から記憶を取り上げる。民衆の書物、文化、歴史などが破壊される。そして誰か別のものが彼のために別の本を書き、別の文化を与え、別の歴史を考え出してやる。やがて、民衆は現在の自分が、過去の自分をゆっくり忘れ始める」(※1)

これはまさに戦後の日本そのものである。

古来より二千年以上にわたり日本人は、自然に感謝し、祖靈尊ぶ心で神仏と接する誇り高き民族であった。

名誉を重んじ、礼節を尊び、優しさの中に気迫を持った日本精神を復活するには、歪められ捏造された歴史を正し、真実の歴史を国民に知らしめなければならない。

そこで歴史の流れを易しく正しく解明していく入門書としてこの本を企画した次第である。

※1 笑いと忘却の書 集英社